

計画演習 I

1. 近畿圏の大学のためのセミナーハウス

担当：足立裕司，三輪康一，梶橋修

大学内での活動としての講義や演習・実習とは別に、ある一定の期間、空間を共にし、集中した活動や共通の目的をもって活動する場が求められている。この課題は、近畿圏の大学共通施設として位置づけ、セミナーや共同制作、スタジオ、社会との連携など学内では難しい様々の活動に対して自由で豊かな場を提供することを目的としている。

敷地は、兵庫県立明石公園の東端の「球技場・自転車競技場」（県立図書館・市立図書館東棟）の土地を想定している。現在は公園に含まれるが、計画に際して公園用地から外し、敷地は北側道路に接道しているものとする。とくに南側の公園（薬研堀、桜堀）などの景観・環境上の調和が求められる。（薬研堀を設計に取り込みたい場合は水辺まで敷地として組み入れてもよい。）

1. 計画敷地

別紙に示す敷地図をもとに「球技場・自転車競技場」の区域を各自が 10,000 m²程度を設定しなさい。計画敷地への自動車でのアクセスは北側道路からとするが、人については、南側公園からのアクセスも可能とする。

2. 建築概要

建築施設の延べ面積は 4,000 m²程度とし、階数、構造は自由とする。

3. 利用者

施設の利用者は主として大学生、大学院生、大学教員であり、15人単位（10人～20人）が6組宿泊でき、最大で150人の学生が共同で研修できる施設とする。また、指導教員や外来者が別に15人宿泊できる諸室を確保すること。

4. 施設機能・所要室

以下の所要室はあくまで目安であり、変更は適宜可能であ

る。ピロティ、吹き出し廊下等は面積に含めなくてよい。大きく研修機能と宿泊機能に分けて提示するが、一体的に扱うことも可とする。

A) 研修機能 2,200 m²程度

B) 宿泊機能 1,800 m²程度

5. 提出図面

A1の用紙にコンパクトにまとめること。

・全体配置図：scale 1/500（施設へのアクセス、外構等を含めた外部空間を示すこと）

・各階平面図：scale 1/200（分棟形式であっても、できるだけ同じ図面内にまとめること）

・立面図：scale 1/200（分棟形式であっても、全体像が理解できるようにまとめること）

・断面図：scale 1/200（敷地全体と建物の関係が理解できるようにまとめること）

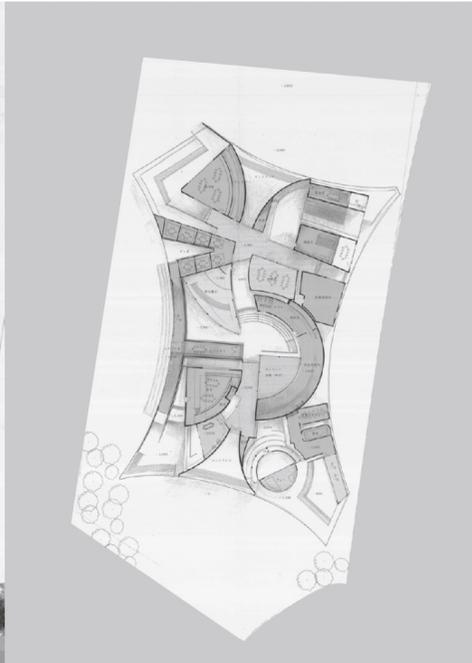
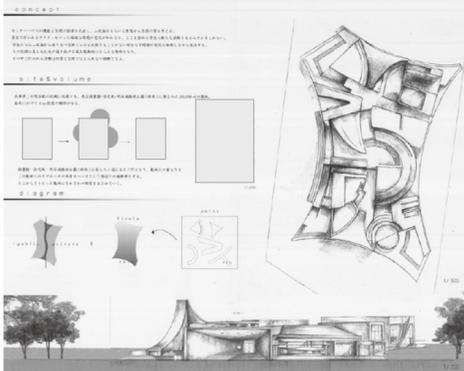
・透視図または模型写真（図面のレイアウトを考慮して貼り付けること）

敷地図：S:1/5000



Seminar House

小林璃央



道しるべ
加藤実悠



Palette
橋本阿季

